

六月三十日(金)午後三時

夏越なごしの

大祓おおはらえ式しき

茅ちの輪わくぐり神事



写真提供 side_colorful

神道青年全国協議会主催

第4回インスタグラム神社フォトコンテスト

「神社とわたしの思い出」

特別賞受賞作品

※ 当日の神事にはどなたでも自由にご参列頂けます
どうぞご参列ください

【伊奈富神社の創祀と疫病の終息】

伊奈富神社の御創祀は古く、今より約二千百年前の崇神天皇の五年に遡ります。我が国最初の正史とされる『日本書紀』には崇神天皇の五年、国内に疫病が流行り国民の大半が犠牲となったとの記録があります。翌六年に天照大御神、日本大國魂神、大物主神、諸神を祀り、七年に終息しました。

うけもちのかみなをとおくにみちのみこと

『日本書紀』の記録にはありませんが、当社の御祭神である保食神那江大國道命が崇神天皇五年に現在の地に祀られたのは、この出来事に由来するものと思われれます。当時、崇神天皇はこの疫病の終息に心身を碎き、誠の心を以て国内の神々を祀り、その一つがこの伊奈富神社でした。

大祓式とは日常において知らず知らずに犯した罪、心身の穢れ、一切の災厄を消滅させ、人間本来の清浄な姿をとりもどし、平穏無事な生活を期待する日本古来の習わしです。六月三十日(夏越)と十二月三十一日(年越)に行われ、当社では特に夏越の大祓式に茅の輪を構えて行います。新たな生活を迎えた我々の、生き生きとした本来の日常を過ごす為、本年も謹んで齋行致します。

【大祓式のお申込み】

① 下段写真の「大祓式」セットを神社にてお受け下さい。

② セットに同封の人形・車形を用いて祓えの作法を行ってください。

③ 申込用紙に必要事項をご記入下さい。

④ 祈祷料を添えて神社へお納め下さい。

※ご遠方からご希望の方はお問い合わせ

せ下さい

ひとがた 人形 一〇〇〇円

くるまがた 車形 一〇〇〇円



伊奈富神社

電話 〇五九一三八六一四八五二

いのう